

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和6年（2024年）11月22日（金）
作成者： （課名）市民協働推進課
（氏名）前村 聡

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 宝塚らしい環境景観づくり ①住環境と経済環境がほどよく調和のとれたまち
	【具体的な取り組み】 43 宝塚歌劇場前交差点および宝塚駅前ロータリーの渋滞緩和を検討する
取組内容の関係課	道路整備課

2 対話の状況

（１）実施概要	
ア 日時：	令和6年（2024年）11月20日（水）10：30～11：30
イ 場所：	中央公民館 205学習室
ウ 出席者：	＜まちづくり協議会＞ 宝塚小学校区まちづくり協議会 ● ＜関係課＞ 道路整備課 濱田課長 ＜協働の取組推進担当次長＞ 伊津次長 ＜市民協働推進課＞ 前村
（２）確認できたこと	
ア 提案の趣旨	宝塚歌劇場前交差点の渋滞緩和について
イ 対話の内容	①混雑状況を知らせる電光掲示板を設置することは可能かどうか。 電光掲示板や道路情報板から、渋滞場所を迂回させる案内はできないか。（まち協） ↓ 設置（新設）は難しい。（県からの回答） （電光掲示板は文字が手打ちでありリアルタイムな情報を提供できないことや、新たなシステムの電光掲示板を開発すると莫大な費用がかかるため。） ②歩行者の横断と車の通行が同一平面の上にあることで起こる渋滞については、歩道橋利用促進で解消とならないか。歩道橋を利用することが難しい歩行者（高齢者や障害者等）が利用するエレベーターの設置はできないか。（まち協） ↓ エレベーターの設置は難しい。 （エレベーターの設置・維持には莫大なコストがかかってしまう。また、高齢者・障害者等の歩行者の利便性は路上横断の方が望ましいため。） →ただし、地域の総意がある場合は、歩道橋利用促進の看板設置については、関係機関と検討・協議をする。（県からの回答） →地域の総意の取り方については、県に確認すると回答（道路整備課） 他、以下記載のとおり、意見交換があった。 ・歌劇場駅前交差点をスクランブル交差点にしてみても？（まち協）

↓
スクランブルでなく歩車分離式が考えられるが、新たな信号表示の時間が必要となり、車を止める時間が長くなり、現状の歌劇場交差点においては効果的な渋滞解消とはならない。(道路整備課)

- 176号を迂回する方法はあるか？(まち協)

↓
中国道を通る方法はあるが、通行料の負担を市がすることになり、市民の理解が得られない為、難しい。(道路整備課)

- 自衛隊道路の拡幅は渋滞解消となるか。(まち協)

↓
拡幅をしても、抜本的な解消とはならない。(道路整備課)

- ★効果的な解消方法がなければ、他に方法は？

↓
伊子志旭町線(橋を含む)の都市計画があり、宝塚大橋を渡る車が分散され車が減り、歌劇場交差点の混雑解消につながるものと思われる。(道路整備課)

ウ 今後の方針
取り組みNo.43(宝塚歌劇場前交差点および宝塚駅前ロータリーの渋滞緩和を検討する)は、一旦この対話を持って終了とするが、新たに、宝塚駅(周辺)の再開発を新しいテーマとし、その中でJRの地下化を図り、宝塚歌劇場前交差点および宝塚駅前ロータリーの渋滞緩和を検討することとなった。